

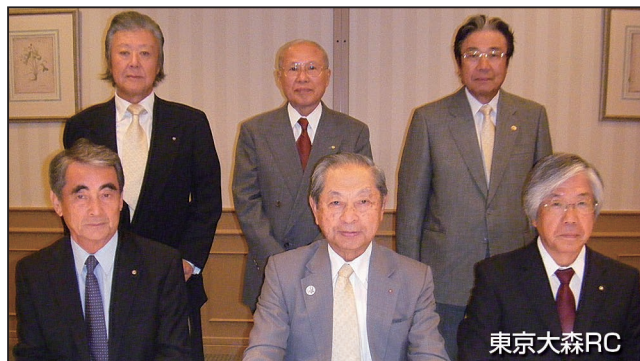
## ガバナー公式訪問 京浜グループ

東京大森ロータリークラブ

会長 谷 學

開催日:2011年10月20日(木) 懇談会:10:10~11:10  
合同例会:12:30~13:30

開催場所 於:大森東急イン



片倉ガバナーとの面談は、午前10時10分から始まった。冒頭、ガバナーからはCLPの導入はどうかと聞かれ、当クラブでは2005-06年度に導入を図ったがこれと言った成果は特に感じられないと回答した。これに対してガバナーから、CLPの導入によって個々の奉仕活動の働きが見えにくくなってきたという感想が述べられた。

次いで、11月8、9日に亘って宮城県石巻市の被災地を視察された話が紹介された。その際、現地でボランティア活動を行っている高校生に出会い、明るく元気に活動している彼らの様子に感動したとの気持ちを吐露された。さらに、ガバナー会で集

められた「東日本大震災の義捐金」の用途の話に移り、集められた10億円を越す義捐金のうち1億2千万円相当が、現地のガバナーを介して被災割合に応じて支援されたとの紹介があった。村口ガバナー補佐からは、東京大森RCがこれまで実施してきた「東京湾の水質調査」に言及され、汚染の状況はどうかとの問いかけがあり、水質は大きく改善されている状況を説明した。原田グループ幹事からは、世界的な会員減少の話が紹介され、カルヤン・バネルジーRI会長がこの対策のために「バネルジー8人委員会」を組織し、その一人に第2750地区の市川伊佐夫氏が選出されたことの紹介があった。ガバナー、ガバナー補佐、そしてグループ幹事との面談は終始和やかに行われ、11時10分に終了した。